

# MJC売上高49億円 最高

## 主力の消防、福祉事業堅調

26年2月期

ソフトウェア開発を手がけるMJC（宮崎市、川崎友裕社長）は28日、2026年2月期決算を明らかにした。主力の消防、福祉事業が堅調だったほか、中央官庁向けや行政機関向け案件が増加、流通業・製造業向けのシステム開発が拡大

した。前年比5・4%増の49億1千万円と過去最高を更新した。営業利益は15・3%増の4億9100万円、経常利益は6・8%増の4億3500万円だった。人工知能（AI）活用や

サイバーセキュリティ対策をはじめとした分野におけるIT投資は今後も継続的な需要が見込まれている。特にマイナンバー関連サービスや、AIを活用した発注システム支援など、データ活用に関する引き合いが増加している。こうした需要拡大を背景に、開発拠点の新設による生産体制の拡充を進めている。

川崎社長は「目標の売上高50億円は着実に近づいている。AIの浸透で企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）投資が進む中、より一層技術力を高めて、AI技術者を育てていきたい」と話している。

今春は新卒者を19人採用、キャリア採用も強化し

（川路善彦）

### 県内経済ニュース

情報提供は経済部へ  
☎0985(26)9306

株式会社データは当日夜  
いち早く「宮日デジタル」で

